

I. 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

395年に成立した東ローマ帝国は、都コンスタンティノープルの旧名であるビザンティウムにちなんでビザンツ帝国とも称されるが、初期ビザンツの歴史はローマ帝国後期の延長線上にあった。帝国では、ディオクレティアヌスやミラノ勅令を発布したことで知られる **「A」** の下で整備された専制君主政と官僚機構が維持されており、皇帝が「地上における神の代理人」としてキリスト教会を監督する体制も受け継がれた。6世紀前半には、ユスティニアヌス大帝が古代ローマ帝国の栄光の再現を目指し、各地に軍隊を派遣して北アフリカの **「B」** 王国を滅ぼすなど、地中海世界の再統一に成功した。また、法学者トリボニアヌスらに命じて **「C」** を編纂するなど、ローマ文化の復興を目指した。

しかし、6世紀後半から7世紀にかけて、北イタリアにはランゴバルド人が侵入して王国を樹立し、バルカン半島では北方からスラヴ人が南下して定住するようになるなど、周辺諸民族の侵入が帝国の転機となった。この動乱の中でローマ帝国から継承した支配体制は崩壊し、領土の縮小により帝国は民族的にギリシア人主体の国家となった。また、7世紀以降は公用語もラテン語からギリシア語へと変わり、帝国は次第にギリシア的・東方的性格を強めていった。

8世紀に入ると、**「D」** によって発布された聖像禁止令をめぐる、帝国およびコンスタンティノープル教会と、聖像崇拝を認めていたローマ教会との対立が深まった。このような状況の下、ギリシア正教会は9世紀後半からスラヴ人への布教を本格化し、南スラヴのセルビア人やブルガール人、さらに10世紀末には東スラヴのキエフ公 **「E」** がギリシア正教を受容した。

9世紀半ばから11世紀初めにかけて、帝国は軍勢力を大いに伸長して繁栄を取り戻し、宮廷を中心に古典文化の復興がみられたが、その陰では大土地所有の進展により自由農民が没落するなど社会の変質が始まっており、11世紀中頃になると皇帝位をめぐる激しい権力争いなどにより帝国は再び混乱した。

11世紀末、東方から侵入した **「F」** 朝に対抗するため、帝国はローマ教皇に援軍を求めた。これが発端となって十字軍の遠征が始まったが、13世紀初にはヴェネツィアと第4回十字軍によりコンスタンティノープルが占領されて **「G」** 帝国が建国されるなど、帝国の混乱は一層深まった。その後、帝国はコンスタンティノープルを奪回し復興するも、もはやかつての勢いはなく、新たにバルカン半島で強大化したセルビア王国や小アジアに建国したオスマン帝国の進出により帝国は次第に衰退し、1453年、オスマン帝国の **「H」** によってコンスタンティノープルが攻略され、ビザンツ帝国はその1000年にもおよぶ歴史の幕を閉じた。

問1 文中 **「A」** から **「H」** までの空欄について、それぞれ最も適当なものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は **「1」** ～ **「8」**。

- A ① テオドシウス帝 ② コンスタンティヌス帝
③ ハドリアヌス帝 ④ オドアカル
- B ① ヴァンダル ② 西ゴート ③ 東ゴート ④ フランク
- C ① 対比列伝 ② 地理誌 ③ 神学大全 ④ ローマ法大全
- D ① レオン3世 ② ヘラクレイオス1世 ③ ヘンリ2世 ④ フィリップ2世
- E ① イヴァン3世 ② イヴァン4世 ③ ウラディミル1世 ④ エドワード1世
- F ① ウマイヤ ② セルジューク ③ ムラービト ④ サーマーン
- G ① イェルサレム ② ノヴゴロド ③ ラテン ④ ノルマンディー
- H ① スレイマン1世 ② セリム1世 ③ バヤジット1世 ④ メフメト2世

問2 下線部(ア)に関して、ユスティニアヌス大帝についての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は **「9」**。

- ① 新たな土地制度としてプロノイア制を導入した。
② ハギア=ソフィア聖堂を造営した。
③ ササン朝のホスロー1世と抗争した。
④ 養蚕技術を導入し、絹織物業を発達させた。

問3 下線部(イ)に関して、ランゴバルド王国を征服した人物を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は **「10」**。

- ① カール=マルテル ② カール大帝 ③ オットー1世 ④ ハインリヒ4世

問4 下線部(ウ)に関して、第1回十字軍が提唱された宗教会議の開催都市と、その会議を招集した教皇の組合せとして正しいものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は **「11」**。

- ① 開催都市=クレルモン 教皇=ウルバヌス2世
② 開催都市=クレルモン 教皇=インノケンティウス3世
③ 開催都市=コンスタンツ 教皇=ウルバヌス2世
④ 開催都市=コンスタンツ 教皇=インノケンティウス3世

問5 下線部(エ)に関して、ヴェネツィアと同様に地中海貿易で繁栄した港市を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は **「12」**。

- ① リューベック ② ミラノ ③ ビサ ④ フィレンツェ

II. 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

北周の外戚であった楊堅は581年に隋を建国し、589年には南朝の を滅ぼして中国を統一した。第2代の煬帝は、大規模な土木工事や3度にわたる 遠征などをおこなったが、これらは民衆を疲弊させ不満を高めることとなり、各地で反乱が相次いだ。

隋末の混乱の中、山西で蜂起した李淵が勢力を拡大し、618年に唐を建国して長安を都に定めた。第2代の太宗は、中国を統一して律令国家体制を整備するとともに、東突厥の大部分を服属させるなど周辺にも勢力を拡大した。第3代の高宗の死後、皇后の則天武后が帝位について国号を と改めるなど唐は一時混乱したが、8世紀はじめに即位した玄宗がこの混乱を收拾し、「開元の治」と称される善政をおこなった。しかし、玄宗の治世末期に楊貴妃の一族が実権を握ると、3つの節度使を兼任していた 系の武将である安祿山が蜂起した。安史の乱と呼ばれるこの反乱は、トルコ系騎馬民族のウイグルの協力により鎮圧されたが、これを機に唐の統制力は急速に失われていった。安史の乱後、節度使は内地にも置かれ、やがて軍事権に加えて財政権・民政権も握り、軍閥化して藩鎮と呼ばれるようになった。また税制も に代わり、事実上土地の私有が公認され、佃戸と呼ばれる小作人を使用する大土地所有制が発達した。一方、中央では宦官の専横がはなはだしく党争が激化すると、窮乏化した農民は大反乱を起こした。この反乱は鎮圧されたが、その後、反乱側の部将から唐に寝返った によって唐は滅ぼされた。

唐の滅亡後、五代十国時代のなかで、960年に北宋が成立した。建国者の は戦乱の世に終止符を打つべく、武断政治から文治主義への転換と中央集権化を図った。しかし、文治主義は一方では防衛力の低下を招き、周辺諸国の脅威にさらされる結果となったため、北宋は遼や西夏に毎年銀や絹などを贈る和約を結んだ。これらの国々への歳幣や、文治主義による人件費の増大などによって財政難に陥った北宋では、11世紀後半の神宗の時代に、宰相の王安石が新法と呼ばれる一連の改革を実施した。しかし、この改革は保守派の反対にあって成功せず、以後、北宋の政界では新法党と旧法党の党争が激化した。その後、中国東北部で金が建国されると、北宋は金と結んで遼を滅ぼしたが、遼を理由に金に都 を占領されて北宋は滅亡し、一族は江南に逃れて南宋を成立させた。

問1 文中 から までの空欄について、それぞれ最も適当なものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は ~ 。

- A ① 斉 ② 梁 ③ 陳 ④ 秦
B ① 高句麗 ② 百済 ③ 新羅 ④ 高麗
C ① 燕 ② 周 ③ 楚 ④ 魏
D ① 匈奴 ② 鮮卑 ③ スキタイ ④ ソグド
E ① 兩税法 ② 一条鞭法 ③ 地丁銀 ④ 均田制
F ① 衛滿 ② 朱全忠 ③ 李元昊 ④ 耶律阿保機
G ① 完顔阿骨打 ② 岳飛 ③ 趙匡胤 ④ 司馬光
H ① 咸陽 ② 杭州 ③ 開封 ④ 大都

問2 下線部(ア)に関して、太宗が整備した律令国家体制についての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 。

- ① 均田農民を徴兵する府兵制を施行した。
② 地方制度として州県制を施行した。
③ 中央官制として三省六部を組織した。
④ 官吏登用制度として九品中正を創始した。

問3 下線部(イ)に関して、玄宗の治世期に活躍した詩聖と称される人物を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 。

- ① 杜甫 ② 李白 ③ 韓愈 ④ 柳宗元

問4 下線部(ウ)に関して、宋代の社会・経済についての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 。

- ① 銅銭が不足したため、交子と呼ばれる紙幣を発行した。
② 江西省の景德鎮で陶磁器が盛んに制作された。
③ 長江の中流域が穀倉地帯となり「湖広熟すれば天下足る」と称された。
④ 広州や泉州などに市舶司を設置した。

問5 下線部(エ)に関して、王安石の新法のうち中小商人の救済策を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 。

- ① 青苗法 ② 市易法 ③ 保甲法 ④ 保馬法

Ⅲ. 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

疫病は、人類史において、戦争や自然災害よりも多くの命を奪ってきた。歴史に残るような大流行を引き起こした疫病には、感染拡大の背景にいくつかの共通点を見出すことができる。とりわけ、戦争や交易など、それまで存在しなかったような広範な人の移動と接触が、感染拡大の要因となることが多い。

14世紀半ば、Aがヨーロッパで猛威をふるった。その被害は甚大で、人口の約3分の1が死亡したと推定されており、農業人口の減少によって封建社会が衰退するなど、政治・経済・文化に大きな影響を与えた。この大流行の背景として、この時期に広い範囲で交易が活発化したことが考えられる。13世紀には、パトゥに率いられたモンゴル軍が破竹の勢いで西進し、Bの戦いでドイツ・ポーランドの連合軍に勝利した。また、フラグ率いるモンゴル軍は西アジアに遠征し、アッバース朝を滅ぼしてC国を建国した。こうしたモンゴル軍の東西移動や、それに続くモンゴル帝国支配下でのユーラシア大陸の東西交易が盛んになったことは、疫病が広がりやすくなった背景の一つであると考えられている。

また、コロンブスがD島に到達したことを機に、ヨーロッパ人がアメリカ大陸に到来すると、彼らを持ちこんだ天然痘が免疫を持たない先住民に大打撃を与えた。これがEによるインカ帝国征服の一要因となった。馬や鉄器を持たず、鉄砲や大砲が無かったことによる軍事的敗北が、インカ帝国崩壊の要因とされることが多いが、天然痘流行による戦闘力喪失も大きな要因である。

産業革命の時代になると、イギリスでは工業化の進展にともなって都市に人口が集中し、労働条件が過酷で非衛生的になったことを背景に結核が流行した。結核そのものは古代から存在したが、農業社会から工業社会への移行期という生活環境の激変期に大流行し、産業革命が各国へ拡大・普及していくなかで世界へと拡大していった。結核で亡くなった著名人としては、Fが有名である。

様々な疫病に悩まされてきた人類が伝染病の脅威に対して守勢から攻勢に転じたのは、近代になって医学が発達してからであった。18世紀末にイギリスのGが種痘法を開発して天然痘の予防法を完成させ、19世紀になるとドイツのコッホが結核菌を発見し、細菌学の基礎を確立した。また、20世紀に入ると微生物の発育・機能を阻止する抗生物質が開発され、イギリスのフレミングにより発見されたペニシリンは、第二次世界大戦中に多くの傷病兵を救った。

こうした医学の発達により、人類は様々な疫病に対して有効な対応をとることが可能になったが、その一方で、著しく進んだ世界の一体化と人の移動の活発化を背景に新たな疫病が拡大している。昨今、猛威をふるっている「新型コロナウイルス」に対しても、人類は想像力と知をめぐらせて、対応していかなければならない。

問1 文中AからGまでの空欄について、それぞれ最も適当なものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は25～31。

- A ① コレラ ② ベスト ③ ポリオ ④ マラリア
- B ① ワールシュタット ② アウステルリッツ ③ ニハーヴェンド ④ アンカラ
- C ① キプチャク＝ハン ② ヒヴァ＝ハン ③ チャガタイ＝ハン ④ イル＝ハン
- D ① サンサルバドル ② アンボイナ ③ ホルムズ ④ キプロス
- E ① コルテス ② パルポア ③ ピサロ ④ カブラル
- F ① ショパン ② ベートーヴェン ③ パッハ ④ ヘンデル
- G ① ハーヴェー ② ジェンナー ③ リスト ④ リンネ

問2 下線部(ア)に関して、クロンプトンが発明した機械を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は32。

- ① 多軸紡績機 ② 綿繰り機 ③ ミュール紡績機 ④ 力織機

問3 下線部(イ)に関して、ポーランド分割に反発して蜂起した人物を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は33。

- ① コシュート ② ビウスツキ ③ ゴムウカ ④ コシューシコ

問4 下線部(ウ)に関して、ドイツが保護領としたアフリカの地域を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は34。

- ① コンゴ ② マダガスカル ③ カメルーン ④ チュニジア

問5 下線部(エ)に関して、第二次世界大戦についての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は35。

- ① ドイツはタンネンベルクの戦いでソ連に敗北した。
- ② アメリカは武器貸与法を制定し、連合国に対して軍事援助をおこなった。
- ③ ソ連はアメリカとの関係を強化するためにコミンテルンを解散した。
- ④ イギリスのチャーチル首相は、大西洋憲章を発表した。